

救急医療とNHU宇都宮病院

1 はじめに

平成21年7月から、国立病院機構(NHU)宇都宮病院は市の2次救急輪番病院に加わりました。本稿では、宇都宮市における救急医療の現状や本院が輪番病院に参加するに至った経緯と課題などについて、述べたいと思います。

2 宇都宮市の救急医療の現状

昨年からの市の救急医療に関する協議会において、現状把握や問題点の整理、新たな体制作りなどの話し合いを重ねてきました。主な問題点は、(1)2次救急輪番病院の絶対数不足(人口50万の宇都宮市で3病院のみ)(2)輪番病院の医師不足による受け入れ困難件数の増加(3)慢性的な満床状態(済生会病院)(4)軽症患者の2次・3次救急受診(いわゆるコンビニ受診)(5)救急車の不適切利用(6)救急病院と診療所との連携・協力が不十分、などです。病院の医師不足や救急告示病院の減少などは我が国全体の医療体制に関わる問題であり、個々の病院だけでは解決できませんが、問題点の整理と共有化はできました。

3 NHU宇都宮病院の近況

平成18年度後半からスタートした「病院改革プロジェクト」の最終目標である「平成20年度単年の黒字化」は、前年より医師が4名減という逆風にもかかわらず、職員全員の努力により何とか達成することができました。一方、平成19年2月からは救急告示病院となり、外科を中心に救急患者を積極的に受け入れてきました。

	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度
救急患者 総数	829	1,149	1,710
救急車 総数	352	646	1,098

整形外科はこれまで以上に人工関節の手術待機患者が増えており、今春からは脊椎の専門医も加わって病棟は恒常的に満床であるため、骨折などの外傷患者の受け入れは事実上無理な状況です。

外科は1名増の5人体制となり紹介患者もさらに増えてきました。当院の外科チームは内視鏡下手術後の傷跡や術後経過にも「こだわり」を持っており、医療の質の更なる向上を目指しています。

内科の中では、残念ながら循環器内科が4月から常勤医不在となってしまうました。近隣の先生方には何かとご迷惑をおかけしてしまい、大変申し訳ありません。一方、神経内科は神経難病などの患者さんを対象に障害者病棟を充実させ患者数も増加してきましたが、脳卒中急性期には対応できませんので何卒ご理解をお願い申し上げます。

4 2次救急輪番病院としての課題

「宇都宮市の救急医療が危機的状況である」という現状認識をふまえ、当院が輪番病院に入るべきか否かを院内の各委員会で検討しました。「現在の3病院を支援しよう」という意見がある一方で、「総合病院でない当院には無理」「時期尚早」「医療事故の危険が高まる」「未収金が増える」などの声もありました。最終的には、患者さん自身やいつも患者さんをご紹介してくれる近隣の先生方からの強い要望に応える形で、輪番病院への参加を決めた次第です。

しかし、当院は長年赤字が続いて人件費率も高いため、看護師や薬剤師・放射線技師などをすぐには増やせない事情があります。さらに、小児科や急性心筋梗塞・狭心症、脳卒中急性期などには対応できないため、輪番日であっても診れない病気は断らざるを得ないのが現状です。つまり「今

の自分たちに出来る範囲での2次救急を受け持つ」のであり、「輪番なのに、満床でないのに、なぜ断ったんだ!？」と言われるならば、当院には輪番はできません。病院スタッフや勤務医を過重労働から守るのも、病院管理者の大切な使命であることを理解していただきたいと思います。

また、当院は既に「結核」という不採算医療を担当しており、毎年何千万という赤字を出しながらも政策医療(国が責任を持って行うべき医療)の1つとして、診療を続けてきました。これに加えて、もう1つの代表的な不採算医療である「救急」をやるとなると、病院全体の経営にまで影響を及ぼす可能性も否定できません。十分とは言わないまでも最低限の財政支援があってはじめて、当院は2次救急輪番病院としてスタートできるのです。

	済生会 宇都宮	NHO 栃木	宇都宮 社会保 険	宇都宮 記念	NHO 宇都宮
看護師 基準	7 : 1	7 : 1	7 : 1	10 : 1	13 : 1
診療 体制	・一般	・一般	・一般 ・療養	・一般	・一般 ・重症児 ・障害者
救急 告示	以前 から	以前 から	以前 から	以前 から	2年 前 から

5 おわりに

地域医療再生の1つの形として、このたびNHO宇都宮病院は2次救急輪番病院に参加しました。しかし、当院には解決すべき課題も多く、現時点では限られた範囲内の救急対応とならざるを得ませんが、地域医療を支えるために今後とも出来る限りの努力をいたしますので、宇都宮市医師会の皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。